

4 町の人々のくらしとうつりかわり

月形町の人たちの昔のくらし

わたしたちのまち月形町には、昔から伝えられてきた行事や昔の人が使っていた生活の道具、昔のことを伝える記念碑などが、たくさん残っています。

月形町に、昔から伝えられてきた行事や昔の道具、建物や記念碑などを調べてみましょう。



かぼとじんじゃさい
樺戸神社祭のみこし

おまつりはどれくらい前からつづけられているのだろう。



おばあさんの子どものころのおまつりはどうだったのかな。



つきがたきよし きょうぞう
月形潔の胸像



かば とはくぶつかんてんじ ようす
月形樺戸博物館展示の様子

むかし どうぐ
昔の道具にはど
んなものがあっ
たのかな。




むかし どうぐ
昔の道具をさがしてみよう

わたしたちは、むかし どうぐ 昔の道具やくらしの様子についてしら 調べるた
めに、かば とはくぶつかん 月形樺戸博物館へ行くことにしました。

かば とはくぶつかん 月形樺戸博物館には、むかし たはた しごと 昔、田畑の仕事やくらしの中で使わ
れていた道具などがてんじ 示されています。

はくぶつかん 博物館の人に、どうぐ 道具の使い方を教わったり、話をうかがっ
たりしてわかったことを、絵カードにまとめてみることにし
ました。

「使われていた時期」の分け方

<p><道具の名前> ランプ</p>	<p><使われていた時期> ひいおじいさん、ひいおば あさんが生まれ育ったころ</p>
	
<p><思ったこと> どのくらいの明るさなのかな？ けむりやすすは出ないのかな。</p>	

- ①ひいおじいさん、ひいおばあさんが生まれ育ったころ（およそ100年くらい前）
- ②おじいさん、おばあさんが生まれ育ったころ（およそ60～80年前）
- ③お父さん、お母さんが生まれ育ったころ（およそ30～40年前）
- ④わたしたちが生まれ育ったころ（およそ10年前～今まで）



むかし どうぐ
昔の道具



あしちよくはん き
たこ足直播機



うんぱんよう ば しゃ
運搬用馬車



プラウ



とう み
唐箕



あし ぶ だっこく き
足踏み脱穀機



てつ
鉄びん



わらぐつ



ランプ

えねんびょう 絵年表を作ろう

しら 調べた絵カードを古い順じゆんにならべて、道具どうぐのうつり変わりの、絵年表えねんびょうを作りましょう。

えねんびょう 絵年表には、くらしの様子ようすのうつり変わりや、よ世よの中ちゆうの様子ようすについても調べて書き入れましょう。

ねんびょう 年表にまとめると、道具どうぐやくらしがどのように変わかってきたのかがよくわかるね。



えねんびょう 絵年表の作り方

- ① 年表ねんびょうを4つの時期に分ける。
- ② 絵カードや写真などを、左から右へ、古い順じゆんにはる。
- ③ 道具どうぐのうつり変わりのほかにも、くらしの様子ようすや世よの中ちゆうの様子ようすなども書きこむ。

絵年表

	ひいおじいさん、ひいおばあさんが生まれ育ったころ（およそ100年くらい前）	おじいさん、おばあさんが生まれ育ったころ（およそ60～80年前）	お父さん、お母さんが生まれ育ったころ（およそ30～40年前）	わたしたちが生まれ育ったころ（およそ10年前～今まで）
道具				
くらしの様子				
社会の様子				

せきひ もの
石碑やたて物をさがしてみよう

140年以上もたつ月形には、昔のこ^{むかし}を^{つた}える^{せきひ}石碑や^{もの}た^て物^が、いろ^いろ^あり^ます。地^のい^きに^のこ^の残^る古^いた^て物^や記^念碑^など^を調^べて^みよ^う。



れきだいてんごく^{せきひ}
 歴代典獄の石碑



かばとじんじゃ
 樺戸神社



ほくぜんじ
 北漸寺



えんぶくじ
 円福寺



ほご
 月形スギ保護林



しのつ しゅうじんぼち
 篠津山囚人墓地



かい
開たくのころ

むかし 昔の月形

月形は、今から140年以上前に、樺戸集治監（後に樺戸監獄）ができ、そこに入れられた囚人たちによって、開たくされました。そのころは、鉄道もなく、人々は石狩川を船で上ってきました。

冬は、氷の上を歩いてわたったり、馬そりを使ったりしました。

囚人たちは、大変な苦勞をしながら、土木やけんちくの仕事もしました。



おかし

昔と今の交通の図

昔と今の交通

昔



- 丸木船 (月ヶ湖で見つかる)

- 渡し船
 - ロープをはって渡る
 - 自動車をものせて渡る



- 外りん船 月形～江別
 - 明治23年(1890)から
 - 列車が通るまで



- 月形大橋がでてる(鉄橋 813メートル)
 - 昭和30年(1955)
 - 昭和44年(1969) 第二期工事

今



- 馬やりや (よいこは 昭和にはいつて戦争がおわったあともすつと使われた)



クイース
氷橋とはどんな橋



- 鉄船 月形～江別
 - 明治17年(1854)



- 月形橋がでてる(つり橋 140メートル)
 - 昭和23年(1948)

せんそうのころ

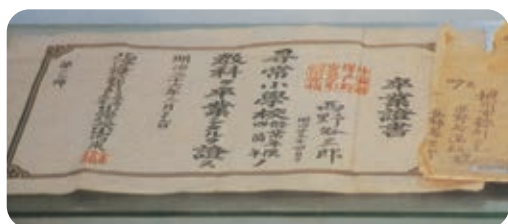
- はじめて列車がとふる
 - 昭和10年(1935)



むかし 昔の学校



むかし 昔の月形小学校



むかし つうちひょう 昔の通知表



むかし 昔の校長先生の写真



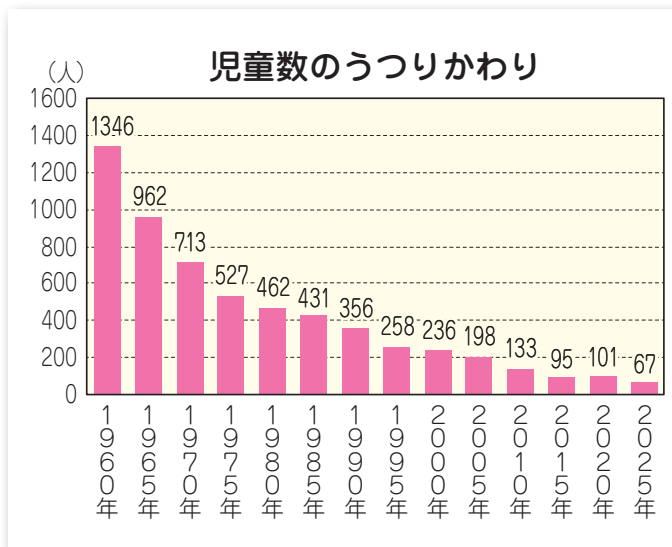
むかし そつぎょうしょうしょ 昔の卒業証書

ようす 校しゃの様子

学校が^{はじめ}始まったころは、とても小さい^{もの}たて物で、今の^{ばしょ}場所
とちがった^{ところ}所^ににたっていました。

また、^{なんかい}何回もたてま
しされたり、たてかえ
られたりしました。

月形小学校は、でき
てから100年目に、
町内の学校として、^{はじめ}初
めて^{てっきん}鉄筋コンクリート
の校しゃになりました。





しょうわ
昭和のはじめのころの小学校



むかし
昔の小学生

しょうわ ようす 昭和のはじめころの様子

このころは児童数^{じどうすう}がとても少なく、みんな着物^{きもの}すがたで通っていたそうです。

はきものは、夏はげた、冬はわらのつまごなどでした。

学校の道具^{どうぐ}は、ふろしきか、かたからかけるズックのかばんに入れて持って行きました。このころからえんぴつ^{えんぴつ}が使われ^{はじ}始めたとのことでした。

いそがしい時は、家の手つだいで学校を休む子もいたそうで、かなり遠くからも子どもが通っていたようです。